

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

478-66

事務事業名	消防団詰所上下水道整備事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	危機管理部	課等名	防災交通課			1	9	1	3	11	4	966
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心して快適なまちづくり				包含する細々目							
施策	41 災害対策の推進											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	第9次消防力整備計画						
		事業期間	13	年度～	年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	消防団詰所	対象の大きさを表す対象指標名と単位	計画されている詰所の数	対象指標の数値				
					現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする		
					2	12			
					現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	下水道の普及	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	下水整備実施済み箇所の累計÷計画箇所数 12箇所	成果指標の数値(実績・目標)				
					18目標	0.16	最終目標	1	22
					18実績	0.16	19目標	0.33	↑
					23目標	1	23実績		最終目標 達成年度
					18目標		最終目標		
					18実績		19目標		↑
				23目標		23実績		最終目標 達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	第9次消防力整備計画による	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	下水道を整備する。 整備実施箇所 一色班、舟渡班、	活動量を表す名称・単位	詰所の水洗化整備数	活動量の値	2
		18年度の実績						
		19年度計画		下水道を整備する。 整備予定箇所 毛賀班詰所 別府下班	詰所の水洗化整備数			2

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	1,165	966
	事業費計(A)	1,165	966
人件費	正規職員所要時間	18年度 120	19年度 120
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	429	429
	トータルコストA+B	1,594	1,395

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	詰所の環境改善	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	詰所水洗化率(整備数/詰所数)	上位成果指標の数値				
					現状値	37.6	19実績		
						20実績	21実績		
						22実績	23目標		
					詰所水道化率(整備数/詰所数)	現状値	97.4	19実績	
						20実績	21実績		
					22実績	23目標			

<p>この事業を開始したきっかけ</p> <p>環境文化都市飯田のスローガンを掲げていることから、公共施設である消防団詰所の環境整備を行う。下水道は本部詰所を優先、上水道は順次改善していく。</p>	<p>事業を取り巻く状況の変化</p> <p>下水道は、公共下水道事業以外に農業集落排水事業、特定環境保全公共下水道事業などの方法があり、年々該当する詰所が増加し整備が追いつかない。上水道については、整備が進み残りあと少しとなっている。</p>	<p>事業に対する市民や議会の意見</p> <p>消防委員会より公共施設への積極的な水洗化要望がある。</p>
--	---	--

【See】18年度の振り返り

目的妥当性評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由) 衛生環境面の改善が、消防団活動の活性化につながる	有効性評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由) 該当詰所の上下水道化
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由) 上下水道化されていない詰所があるため		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由) 環境文化都市のスローガンに反する。公共施設の環境整備が遅れる。
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由) 上下水道化が必要な詰所があるため		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？	(評価) 必要ある (その理由) 飯田市消防団の詰所		効果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 不可能 (その理由) 現在の工法、資機材に改善する余地がない
			公平性評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由) 飯田市消防団の施設

【Plan】改革改善

<p>今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 具体化</p>	<p>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p> <p>女性団員が活動する本部詰所を優先的に水洗化してきた。今後は、下水工事の完了した地域の詰所を計画的に実施する。</p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p> <p>建物の老朽化が課題となっている。水洗化工事を優先するか、建物の新築、改修に合わせるか。</p>
---	--

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	